

失読症でありながら伝統芸能の世界で奮闘する若手太神楽師 曲芸の披露と困難を乗り越え自立に向かう体験談のトークショー 古民家で味わう伝統芸能 5月22日(日) 午前11時から 小平ふるさと村で

公益財団法人小平市文化振興財団では、5月22日(日)の午前11時から、古民家で味わう伝統芸能と題して、伝統芸能の太神楽の曲芸披露とトークショーを開催します。

今回ご出演いただくのは、若手太神楽師の鏡味仙成（かがみ せんなり）さんです。

太神楽は、江戸時代末期から寄席芸能として広く大衆の人気を集めた日本の総合演芸で神楽の一種です。主に獅子を舞わせて悪魔払いなどを祈祷する獅子舞をはじめとした「舞」と、傘回しをはじめとした「曲」（曲芸）があり、現在は主に寄席で見ることができます。

その太神楽の若手有望株の鏡味仙成さんは、子どもの頃、読み書きが苦手で、学校の授業やテストがよく理解できなかったといい、失読症(ディスレクシア)と診断されました。

その少年期の失読症が困難な時に会ったのが演芸でした。学業との葛藤に苦しんだ中学時代、漠然とでしたが「お祭りに関わる仕事をしたい」と進路を描くようになり、寄席で目にした太神楽に行き着いたそうで、その後、相当な努力をされて現在、若手太神楽師として活躍されています。



当日は、第1部で曲芸を披露していただき、第2部は普段の寄席出演とは趣向を変えて、伝統芸能の世界に飛び込むきっかけや、困難を乗り越え自立に向かう体験談を語るトークショーを開催します。

この芸の壁とハンディの壁を越えてきた鏡味仙成のイベントをぜひ取材くださいますようお願い申し上げます。

■開催日時 2022年5月22日(日) 午前11時開演（午前10時30分開場）

■開催場所 小平ふるさと村（東京都小平市天神町3-9-1）

※ 屋外での鑑賞です。座席での鑑賞には、お申込みが必要です。

※ 座席の後方から立見でのご鑑賞もできます。立見の場合は、申込みの必要はありません。

※ 雨天の場合は、立見のスペースはありません。座席鑑賞をお申し込みの方のみご鑑賞できます。

■費用 無料 ■座席定員 40人

■申込み 小平ふるさと村へ（電話可・先着順、2人分まで申込み可）

■開催内容 第1部 太神楽の曲芸披露

第2部 伝統芸能の世界に飛び込むきっかけや、困難を乗り越え自立に向かう体験談を語るトークショー

■問合せ 公益財団法人小平市文化振興財団 ふるさと村担当：小山 誠

電話 042-345-5111、042-345-8155(小平ふるさと村)

FAX 042-345-9951、メール rune@kodaira-culture.jp